

# クリスマス・キャロル

なんせい き わた おおせい ひとひと さま あい  
 何世紀にも 渡って、大勢の 人々が イエス様を 愛し、  
 クリスマスが 来るたびに その 誕生を 祝ってきました。

クリスマス を 祝う 方法の 一つとして、  
 人々は クリスマス・キャロル を 歌ってきました。

<sup>1</sup> おさな 子らよ、みな 来たれ (仮題)、1790年

<sup>2</sup> あらの 果てに、1862年

<sup>3</sup> きよしこの夜、1818年



(ドイツ語)「おさな 子らよ、みな 来たれ...」<sup>1</sup>



あらの 果てに  
 ゆうひ お  
 夕日は 落ちて...<sup>2</sup>



(ロシア語)「きよし この夜...」<sup>3</sup>



かみ 4 神の み子は、1751年



このような <sup>むかし</sup>昔ながらの <sup>うた</sup>クリスマス・キャロルを <sup>うた</sup>歌いながら、  
<sup>びやくねん</sup>2.3百年も <sup>まえ</sup>前から <sup>おな</sup>この <sup>きよく</sup>同じ <sup>うた</sup>曲を <sup>せがいしゅう</sup>歌ってきた <sup>せがいしゅう</sup>世界中の  
<sup>おおぜい</sup>大勢の <sup>おせう</sup>クリスチャンたちのことを <sup>う</sup>思い浮かべてみましょう。

<sup>ことし</sup>今年の <sup>ことし</sup>クリスマスは、それらの <sup>ことし</sup>クリスチャンたちと  
 いっしょに <sup>うた</sup>クリスマス・キャロルを <sup>うた</sup>歌って、  
 イエス様の <sup>さま</sup>誕生を <sup>たんじょう</sup>お祝いしましょう!